



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東  
コード番号 7552 URL <https://www.happinet.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一  
問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員経営企画室長 (氏名) 石丸 裕之 (TEL) 03-3847-0410  
四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	242,384	9.9	5,973	12.8	6,215	12.6	3,687	4.4
2022年3月期第3四半期	220,488	9.7	5,293	23.4	5,519	26.7	3,532	28.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,408百万円(4.5%) 2022年3月期第3四半期 3,262百万円(△22.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	166.56	162.90
2022年3月期第3四半期	160.72	156.44

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	113,411	45,462	39.6
2022年3月期	85,325	43,494	50.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 44,943百万円 2022年3月期 42,785百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	40.00	65.00
2023年3月期	—	25.00	—		
2023年3月期(予想)				40.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2023年2月8日)公表しました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	6.2	6,000	7.6	6,200	5.9	3,500	△1.5	159.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2023年2月8日)公表しました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	24,050,000株	2022年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,862,822株	2022年3月期	2,038,983株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	22,139,773株	2022年3月期3Q	21,981,789株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」及び「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2023年2月8日に当社ウェブサイトに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの関連業界におきましては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進み、商業施設などへの人流にも回復傾向が見られるものの、少子化や消費者ニーズの多様化、デジタル化が進む中で、国際情勢の変化、原材料価格・物価の上昇などもあり、先行きが不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの経営成績につきましては、玩具事業、ビデオゲーム事業、アミューズメント事業が引き続き好調に推移したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,423億8千4百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は59億7千3百万円(同12.8%増)、経常利益は62億1千5百万円(同12.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億8千7百万円(同4.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 玩具事業

玩具事業につきましては、BANDAI SPIRITSの「一番くじ」や「ポケモンカードゲーム」「ONE PIECE カードゲーム」を始めとしたトレーディングカードなど、コンビニエンスストア向け商品が依然好調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。利益面につきましても、当社の最大の商戦期であるクリスマス商戦において適正在庫の維持に努め、在庫の評価損失が減少したことにより、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は1,003億5千2百万円(前年同期比19.8%増)、セグメント利益は39億9千3百万円(同24.9%増)となりました。

#### ② 映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、前年同期と比較して大きなヒット商品に恵まれず、特に映像パッケージの販売が苦戦し、売上高は前年同期を下回りました。利益面につきましても、滞留在庫の評価損失や当社出資映像作品の作品投資損失が発生したことにより、前年同期を大幅に下回りました。

この結果、売上高は495億4千7百万円(前年同期比4.6%減)、セグメント利益は1億2千4百万円(同79.1%減)となりました。

#### ③ ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、半導体不足などの影響があったゲームハードの供給が回復傾向にあることに加え、「ポケットモンスター スカーレット・バイオレット」などのヒット商品もあったことにより、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は690億8千3百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント利益は14億3千3百万円(同4.1%増)となりました。

#### ④ アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、カプセル玩具市場が依然好調に推移していることに加え、当社が運営するカプセル玩具ショップ「ガシャココ」の出店や新規ロケーションを拡大したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。なお、「ガシャココ」は2022年12月末日時点で70店舗を出店しております。

この結果、売上高は234億円(前年同期比35.5%増)、セグメント利益は16億1百万円(同49.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ280億8千5百万円増加し、1,134億1千1百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少135億8千7百万円、受取手形及び売掛金の増加379億円及び棚卸資産の増加29億1千2百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ261億1千7百万円増加し、679億4千8百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加234億1千4百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ19億6千8百万円増加し、454億6千2百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加36億8千7百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億5千7百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少14億5千4百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、玩具事業、アミューズメント事業が好調に推移したことにより、2022年11月14日に「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想を上回る見通しであります。

詳細につきましては、本日(2023年2月8日)公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,358	9,770
受取手形及び売掛金	29,584	67,485
電子記録債権	4,326	5,417
棚卸資産	6,383	9,296
その他	3,957	4,866
貸倒引当金	△2	△6
流動資産合計	67,607	96,829
固定資産		
有形固定資産	1,165	1,137
無形固定資産		
のれん	383	227
その他	1,774	1,795
無形固定資産合計	2,158	2,023
投資その他の資産		
投資有価証券	9,162	8,589
その他	5,252	4,852
貸倒引当金	△21	△20
投資その他の資産合計	14,393	13,421
固定資産合計	17,717	16,582
資産合計	85,325	113,411
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,413	50,828
未払法人税等	1,510	883
賞与引当金	440	693
役員賞与引当金	207	-
その他	7,480	10,426
流動負債合計	37,051	62,831
固定負債		
株式給付引当金	192	239
役員株式給付引当金	-	73
退職給付に係る負債	3,242	3,334
その他	1,344	1,468
固定負債合計	4,779	5,116
負債合計	41,831	67,948
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,953	3,322
利益剰余金	35,981	38,214
自己株式	△1,810	△1,976
株主資本合計	39,875	42,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,900	2,642
繰延ヘッジ損益	9	△11
その他の包括利益累計額合計	2,909	2,631
新株予約権	709	519
純資産合計	43,494	45,462
負債純資産合計	85,325	113,411

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	220,488	242,384
売上原価	197,591	216,384
売上総利益	22,897	26,000
販売費及び一般管理費	17,603	20,026
営業利益	5,293	5,973
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	136	163
為替差益	11	32
新型コロナウイルス感染症による 助成金収入	17	6
その他	69	80
営業外収益合計	235	282
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	6	38
その他	3	0
営業外費用合計	10	39
経常利益	5,519	6,215
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	-	87
会員権売却益	-	1
特別利益合計	0	89
特別損失		
固定資産売却損	3	-
固定資産除却損	4	7
減損損失	4	-
関係会社出資金評価損	52	-
特別損失合計	65	7
税金等調整前四半期純利益	5,454	6,298
法人税、住民税及び事業税	1,787	2,025
法人税等調整額	133	585
法人税等合計	1,921	2,610
四半期純利益	3,532	3,687
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,532	3,687

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,532	3,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△261	△256
繰延ヘッジ損益	△8	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△269	△278
四半期包括利益	3,262	3,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,262	3,408
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	83,749	51,951	67,517	17,269	220,488	—	220,488
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	83,749	51,951	67,517	17,269	220,488	—	220,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	83,749	51,951	67,517	17,269	220,488	—	220,488
セグメント利益	3,196	597	1,376	1,074	6,246	△952	5,293

(注) 1. セグメント利益の調整額△952百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△952百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	100,352	49,547	69,083	23,400	242,384	—	242,384
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	100,352	49,547	69,083	23,400	242,384	—	242,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	100,352	49,547	69,083	23,400	242,384	—	242,384
セグメント利益	3,993	124	1,433	1,601	7,154	△1,180	5,973

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,180百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,180百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。